

# Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 北海道

### W・Yさん（母）

交通遺児等育成基金の皆様には何かと気にかけていただき、ありがとうございました。

平成14年に主人が亡くなってから、長男、次男と貴基金にお世話になり、この度、長女が最後の給付完了となりました。長年、経済的に支えていただけたことに心からお礼申し上げます。長男も無事就職し、次男、長女は大学に在学しております。家から離れて学業に専念できているのもこの基金の助けがあったからと思っています。

これからは何かの機会の皆様のお役にたてればと思います。本当にありがとうございました。

## 神奈川県

### Y・Sさん（母） Y・Tさん（加入者）

#### ♡ お母さまより

三男の給付金完了の知らせを頂いた今、支えてくださった皆様への感謝の気持ちと寂しさが入り交じった感情を抱いています。年齢が近い幼い三人の息子を抱えて、これからの日々を悲観したこともありましたが、多くの人の支えと給付金のおかげで不自由のない生活を送ってこれたと思います。またなかなか出来ない経験をさせていただき、それらは今までの、また、これからの糧になっていくと思います。本当にありがとうございました。

#### ♡ 加入者さまより

今まで給付金をありがとうございました。幼い頃に父を亡くし、父親というものをあまり知らずに育ってきましたが、生活においては何一つ不自由のない日々を送り、様々な経験を得ることができました。

この経験を活かし、今後も立派な人間になれるよう成長していきたいと思っています。

## 愛知県

### S・Sさん（母）

娘の育成基金終了のお知らせを受け取り、長きに渡り支えていただいた感謝の気持ちでいっぱいです。

娘は昨年希望していた大学に受かり、たくさんの友達と大学生活を満喫しております。夫の事故により小学6年生の時から母子家庭となった我が家ですが、困難にも負けず、明るく優しい子に育ってくれたことを誇りに思います。

夫が亡くなった時は、娘が一人前になるまできちんと生活が続けられるだろうか、娘の望む教育を受けさせてやれるだろうか大きな不安に負けてしまいそうでしたが、このような事故被害者遺族への支援事業を受けたり、親戚や友人の真心を得られたり、夫がいた頃にはわからなかった人の優しさを知ることができました。

今までありがとうございました。心からのありがとうございますを込めて。

## 匿名希望さん（母）

息子の小学校入学にあたり、橋本給付金をいただき誠にありがとうございました。

事故から2年が過ぎ、幼稚園に通っていた子供が小学校入学とは、時間経過の早さに驚いています。

たった4歳で父親を亡くした息子は、パパとの思い出も少なく、他の子に比べてかわいそうだと思う一方、私がパパの分も愛情を持って優しく厳しく育てていかなければいけないと気の引き締まる思いです。

中学生、高校生になるにつれ難しい年ごろになると思います。父親がいない家庭で、男の子の反抗期は皆さんどのように乗り越えられたのでしょうか？ 亡くなった夫にも心配をかけないよう、仕事や家のこともしっかりやっていきたいと思っています。

いつも支えてくださりありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

## 愛知県

## M・Sさん（加入者）

高校入学のお祝いをいただきありがとうございます。高校では中学から続けているバスケットボール部に入り、部活や勉強を頑張りたいと思います。

いただいた図書カードで好きな本を買いました（歴史書や浅田次郎の小説）。これからもたくさんの方々に応援してもらっていることを忘れずに、元気に生きていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## 新潟県

## T・Sさん（母）

この度、長男が19歳の誕生日を迎え、育成給付金完了のお知らせを受け取りました。

4歳で父を亡くし、幼い弟もいて、あまり私に甘えることのできないまま、駆け足で大人になった長男でした。中高生の頃はバッチリ思春期・反抗期を迎え、さすがに夫がいたら…と思う日々もありましたが、それでも基金のおかげで本人の希望する高校、そして大学に進学させることが出来ました。

春からは東京の大学に進学し、一人暮らしを始めます。大人になっていく長男をそっと見守ることが出来るのも、基金のおかげです。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。この春高校生になった次男ともうしばらくのお付き合いとなりますが、よろしく願いいたします。

## 埼玉県

## Y・Tさん（母）

この度は橋本給付金のお知らせをいただきありがとうございました。橋本様のご厚意に感謝申し上げます。

今年は長男が高校進学、長女は中学生に、そして次男が小学5年生になります。

それぞれが自分の目標に向かって、明るく元気に過ごしております。たくさんの方々を支えられ、こうして日々を過ごせることに幸せを感じております。

## 大阪府

## S・Rさん（加入者）

この度は橋本給付金、図書カードをありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

充実した高校生活を送ることができるよう、今を一生懸命生きようと思います。今までご支援していただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。母と妹と家族三人元気に楽しく過ごしています。

## 東京都

## S・Mさん（母）

長い間大変お世話になりました。また心のこもった贈り物をいただきありがとうございました。

小学生だった娘も今年で大学2年生です。楽しそうに大学に通っている姿を主人が見たら、きっと大喜びすると思います。無事に育っているので本当に良かったと思います。本当にお世話になりました。

今年は下の子が高校に入学しましたのでもうしばらくお世話になります。これからもよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

## 茨城県

## A・Oさん（母）

この度は次男の高校入学のお祝いを頂き誠にありがとうございました。教材等の購入に使用させていただきました。

基金は兄弟2名で利用させていただきました。安定した給付金と、折々にいただくお祝い金や図書カード、本当に助けていただいております。

また、周りには交通事故被害者の方がおらず、私達家族の境遇や心情を理解してもらえない寂しさを感じることもありますが、スマイルズで同じ境遇の方のお便りを読むと孤独感が和らぎます。皆さんも苦勞されながら頑張っているのだな、ならば私も！と勇気が湧いてきます。

長男は現在大学4年生となり、学業と就職活動に励んでおります。今後も2人の子供たちと力を合わせ、夫の分まで人生を明るく過ごしていこうと思います。

## 千葉県

## M・Mさん（母）

いつもお世話になっております。

長男が高校3年生、次男が高校1年生となり、子供たちもそれぞれの友人とのつきあいや部活で楽しそうに日々を送っています。

家族で一緒にいる時間が減り、多少の寂しさを覚えつつも、2度とない青春時代を目一杯楽しんでほしいと思います。

今まで息子たちに使っていた時間が少し開いたので、最近ジョギングを始めました。家の近所のジョギングコースを3キロ走るのが日課となり、徐々に距離を伸ばしていくことを目標にしています。

運動は、体にはもちろん、心にもいい影響を与えてくれます。仕事や家庭でのちょっとしたストレスなら、汗と一緒に流れていってしまうようです。いつかはフルマラソンを走れるように、新米ジョガー、頑張ります！！

## 匿名希望さん（母）

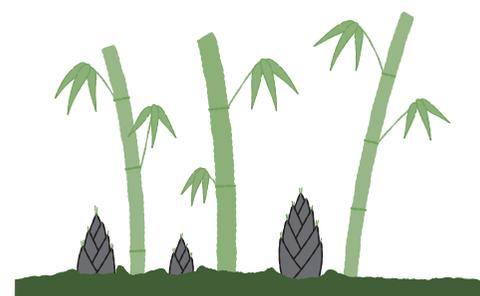
日々お世話になっております。おかげ様で娘が無事進級できますこと、深く感謝しております。四月より高校1年生となり、ますます苦難となる日々が来ると思います。父親がいない負担が今以上に重なることが不安ですが、娘の頑張りが今後の支えとなっている現状です。

## 滋賀県

## T・Aさん（加入者）

父が亡くなり昨年で13回忌を迎えました。これまで本当にたくさんの方に支援していただき、ここまで来ることができました。改めて感謝しております。

当時1歳だった私も来年は中学3年で受験生です。あと数年ですが、よろしく願いいたします。寒さが厳しいこの頃ですが、体調にお気を付け下さい。



## 宮城県

## M・Tさん（母）

長い間お世話になりました。

先日、主人の17回忌も終わりました。事故があった時は3歳だった息子も大学進学のため家を離れアパートで一人暮らしを始めました。家では何もしなかった彼が…私の心配をよそに意外に何でもやっている様子に正直驚いています。同時に成長を感じ、ホッとした部分もあります。

長い間交通遺児等育成基金のおかげで子供が進みたい道を歩ませることができ、本当に感謝しております。下の子ももう少しお世話になります。本当にありがとうございました。

## 東京都

## N・Mさん（母）

この度は給付金と図書カードをいただきありがとうございます。娘の高校進学に使わせていただきます。

私が病気で車椅子生活なのでこれから先の人生が心配です。本好きで将来に夢を持つ子供のお荷物にはなりたくありません。

## 神奈川県

## U・Jさん（母） U・Aさん（加入者）

♡お母さまより

このようなお気持ちをいただき、大変感謝しています。我々遺族はつい身を固くし、小さく目立たなく…となりがちですが、心がポッと温かくなりました。ありがとうございました。娘がなりたいたいものになれるよう、親として応援し続けます。

♡加入者さまより

今回、橋本給付金をくださりありがとうございました。4月から高校生となり、1人の社会人に一歩近づきますが、このように私達に手厚いご支援をしてくださる方々への感謝を忘れずに、自分ができることに全力で取り組みたいと思います。

今回は本当にありがとうございました。